

平成17年 3月15日

近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う上り線（名古屋方面行き）の高架運行開始について

名古屋市と近畿日本鉄道株及び東海旅客鉄道株が実施している近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業（黄金～庄内川）のうち、近鉄名古屋線の高架工事が進み、上り線が5月21日（土）の始発から高架にて運行を開始します。

記

1. 趣 旨

この連続立体交差事業は、近鉄名古屋線とJR関西本線の高架化を行い、15箇所の踏切を取り除くとともに、都市計画道路高畑町線などを整備し、交通渋滞や地域分断の解消などを図るものです。

今回、最後に残った近鉄名古屋線の上り線の高架運行を開始し、事業着手前には1時間あたりの最大遮断時間が約47分であった踏切を始め、すべての踏切を除去します。

なお、近鉄八田駅は今回の高架運行開始に併せて、上り線の駅を下り線の駅と同じ位置に移転します。

今後は、高架橋や駅部などの工事を引き続き行うとともに、側道や交差道路の整備を行います。

2. 日 時

高架運転開始：平成17年5月21日（土） 始発列車から〔悪天候時は順延する場合あり〕
（切替作業：平成17年5月20日（金） 22時頃から）

3. 事業概要

近鉄名古屋線連続立体交差事業

事業区間：中川区富田町大字前田～中村区黄金通8丁目 約3.4km

事業費：総額 約470億円

事業期間：平成5年度～平成18年度（予定）

近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業 概要図

近鉄名古屋線事業区間 約3.4 km

